



ひらどだい

令和4年度 学校だより 12月号 横浜市立平戸台小学校 校長 丹波 悟亮

12月

スケールメリット

校長 丹波 悟亮

校外学習に行くと、いつも感じるがあります。それは、人数が少ない事でのメリットです。バスに乗っても、電車に乗っても、子どもたちは素早く行動します。小集団であるために、短時間で、てきぱきと行動することができます。緊急に伝えたいことがあっても、さっと集まって、担任の話を聞いて、みんなが理解します。そのことで、安心安全で充実した活動ができます。校外学習の際には、路線バスや電車などの公共交通機関を使うことで、児童にとって多くの学びがあります。公共の場での声の大きさや行動にも自然と意識がいて、礼儀正しく行動しています。

たてわり活動では、高学年の子が低学年のお世話を上手にしていました。今までのたてわり活動での経験が積み重なっていて、更に、少人数であるために、子どもたち同士で、全員の名前を憶えていて、相手の性格を理解した上で、上手に話しかけています。高学年が高学年の役割を低学年は低学年の役割を果たし、お互いに成長しながら、とても仲良くしています。微笑ましい場面を多く見るすることができます。1，2年の児童遊園地への校外学習では、2年生が1年生のお世話をしていました。1年生は、2年生の言うことをよく聞いて行動していました。異学年交流は、子どもたちを更に成長させます。

高学年の算数では学級の人数をさらに少なくして、少人数学習をしています。児童一人ひとりに教師が丁寧に指導することができます。



このスケールメリットは、平戸台小学校の児童の良さであり、強みでもあります。

「ひらりん CHA CHA CHA 学びのチャンス 可能性にチャレンジ 自信と元気をチャージ」を充実させ、児童も、保護者も、地域の方も、教職員も、笑顔いっぱいの平戸台小学校にしていきたいです。